

1 基本項目	事務事業名	魚津市民バス運行事業			担当部署	課名	商工観光課	
	予算事業名	魚津市民バス運行事業			係名	交通政策係		
	事業区分	自治事務			電話番号	0765-23-1380		
	事業期間	開始年度	平成18年度	終了年度	当面継続	予会計	一般会計	
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち			科目	2. 総務費	
	画	政策名	7 魅力ある都市基盤の充実			項目	1. 総務管理費	
	根拠法令	施策名	20 総合交通体系の整備			目	10. 交通対策費	
	基本事業名	20-2 市民バス体系の強化			アウトソーシング導入状況	導入予定(業務委託)		
					総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	市民の日常生活に必要な交通手段の確保を図り、市民の福祉を増進するとともに、魚津市に來訪される方々の利便性を確保し、地域ま活性化を図ることを目的として、魚津市民バスを運行しています。 ◇路線 市街地巡回ルート(東・西回り)、郊外ルート(6ルート)、◇運賃 全ルート共通 1人1乗車200円(小学生100円、未就学児無料) [回数券13枚綴り2,000円(小学生回数券11枚綴り1,000円)・1日乗車券500円(小学生300円)あり
	対象	魚津市民や魚津市を訪れる人
	手段(活動指標)	運行及び安全運行に必要な運行管理を行うとともに、利便性向上などの利用促進策、持続的な運行を行うための運行体制の在り方に関する協議を行う。
意図(成果指標)	高齢者を中心とした交通弱者の移動手段を確保することで、地域間交流が促進し、地域の活性化、市街地の賑わいが創出する。併せて、道路交通の円滑化・交通安全、地球温暖化防止等環境保全、健康増進などを図る。	

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度		28年度	
			計画	実績	計画	実績	達成率	
活動指標 成果指標	① 市民バス運行委託料(市街地巡回ルート)	円	14,380,000	14,247,695	14,708,578	14,549,125	98.9%	14,708,578
	② 市民バス運行委託料(郊外6ルート)	円	35,400,000	33,247,783	41,130,000	43,751,603	106.4%	48,141,000
	③							
	① 市民バス利用者数(全ルート)	人	203,000	175,324	180,000	158,327	88.0%	160,000
	② 市民バス運賃収入(全ルート)	円	18,000,000	26,168,457	26,000,000	24,196,423	93.1%	24,000,000
	③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度		28年度	
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	
支出内訳	① 需用費	円	3,621,624	3,497,624	2,878,000	2,970,528	-15.1%	2,878,000
	② 委託料	円	52,405,000	50,099,077	65,000,000	58,922,438	17.6%	65,000,000
	③ 工事請負費	円	25,000,000	17,010,000				
	④ 負担金補助及び交付金	円	898,286	865,000	1,300,000	1,300,000	50.3%	1,300,000
	⑤ その他	円	1,035,352	824,480	1,126,000	1,281,914	55.5%	1,126,000
	支出合計(A)	円	82,960,262	72,296,181	70,304,000	64,474,880	-10.8%	70,304,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	18,317,000	13,922,500	3,183,000	3,950,000	-71.6%	3,183,000
	② 県支出金	円	5,748,000	5,805,000	6,340,000	6,367,000	9.7%	6,340,000
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	18,087,000	27,617,107	31,063,000	26,082,793	-5.6%	31,063,000
	⑤ 一般財源	円	40,808,262	24,951,574	29,718,000	28,075,087	12.5%	29,718,000
	収入合計	円	82,960,262	72,296,181	70,304,000	64,474,880	-10.8%	70,304,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	② 年間所要時間	時間	1,500	1,500	1,500	1,560	4.0%	1,560
	③ 人件費(②×@ 4,400円)(B)	円	6,600,000	6,600,000	6,600,000	6,864,000	4.0%	6,864,000
	総費用(A+B)	円	89,560,262	78,896,181	76,904,000	71,338,880	-9.6%	77,168,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	◇バス予約システムの安定稼働に向けた取り組み及びバス運行ディスプレイシステムの追加導入 ◇市民バスを利用した市内まちなか巡りの実施 ◇市街地巡回ルートの夕方1便の増便実験運行(通勤・通学者対策) ◇郊外ルートの運行及び運行管理業務の交通事業者へ移管後の、市内全域での市民バス及び地鉄バスの利用促進に向けた取り組み ◇片貝コミバスの市民バス化及び路線設定、清流小学校へのスクールバスとの共同運行に向けた関係者協議 ほか	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	規制緩和により、民間バス路線が撤退した後の、市民や市来訪者の移動手段の確保のために、行政の関与は必要
目的の妥当性				1 妥当である	市民や市来訪者の移動手段を確保し、市民の福祉の増進と地域の活性化のために、市民バスの運行は不可欠である。	
対象の妥当性				1 妥当である	魚津市へは、ビジネス・観光等さまざまな目的をもって來訪される方がおられるため。	
有効性	A	A	目標達成度	2 目標どおり	乗車数は前年度比9.69%の減少となったが、各地域で利用促進活動に取り組んで頂いた効果は一定程度あったと考えている。	
			類似事業の有無	1 なし	現時点で、市民バスの運行路線をカバーし得る、交通手段、事業者はなく、利用者が代替手段を見つけることは困難である。	
			上位施策への貢献度	1 高い	市民バス利用者数の維持や利便性向上、適正な一般財源額維持は、市の交通体系の確立に不可欠である。	
効率性	B	B	コスト効率	2 普通	運転手賃金はNP0への委託時とほぼ同額の安価な賃金であり、現状ではこれ以上の運行費削減は厳しい。	
			実施主体の適正化	1 適正である	市が、市民や市来訪者の移動確保のためのセーフティネットとなり、責任をもって運行主体となる必要がある。	
			負担割合の適正化	1 適正である	市民バス、地鉄バスは、平成26年6月に1乗車200円に料金を改定した。また、地域負担の不公平解消にも道筋があった。	
1次評価(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要	【選択してください】
後(課題及び今後の方針)	市民バス事業は、平成27年度からの運行管理等業務を交通事業者へ移管するとともに、各地区において「魚津市民バス等利用促進協議会」を設立いただいた。今後も、さらなる安全運行管理体制の構築と利用者増加を目指すとともに、効率的かつ持続可能なバス運行ができるよう様々な方策を講じていく必要がある。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	地域活性化バス等運行事業			担当部署	課名	商工観光課	
	予算事業名	地域活性化バス等運行事業				係名	交通政策係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1380	
	事業期間	開始年度	平成2年度	終了年度		当面継続	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標2 安全で快適な暮らしやすいまち			科目	2. 総務費	
	画	政策名	7 魅力ある都市基盤の充実			項目	1. 総務管理費	
	根拠法令	施策名	20 総合交通体系の整備			目	10. 交通対策費	
	基本事業名	20-2 市民バス体系の強化			アウトソーシング導入状況	導入済(業務委託)		
					総合計画等への記載	総合計画実施計画に記載		

2 事業概要	事業概要	片貝地域における児童、生徒や高齢者等交通弱者の移動手段を確保するため、片貝地区内においてコミュニティバスを運行している。(平成2年から実施していた松倉地区スクールバスは平成18年度に市民バス事業へ移管される。)また、魚津IC周辺の交通空白地域へ実験運行している上野方ルートへの延伸における満車時の追走車両の確保を行う。
	対象	片貝地域住民及び市民バス上野方ルート上の住民の方々等
	手段(活動指標)	片貝コミュニティバスの運行に対して支援するとともに、上野方ルートの満車時に乗客の移動手段の確保のためにタクシーによる追走を行う。
	意(成果指標)	片貝地区および魚津IC周辺の交通空白地域の高齢者・児童・生徒などの移動制約者の交通手段を確保する。

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 片貝コミュニティバス運行委託料	円	4,600,000	4,525,276	4,620,000	4,453,584	96.4%	0
	② タクシー等による満車時、緊急時対応回数	回	10	17	10	56	560.0%	60
	③							
	① 片貝コミュニティバス利用者数	人	21,500	21,295	21,000	19,836	94.5%	0
	② 交通空白地域(魚津IC周辺)における利用者数	人	2,100	2,305	2,100	2,019	96.1%	2,100
	③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	70,258		100,000			
	②委託料	円	4,600,000	4,525,276	4,620,000	4,453,584	-1.6%	
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円						
	支出合計(A)	円	4,670,258	4,525,276	4,720,000	4,453,584	-1.6%	0
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	460,000	452,258	462,000	445,359	-1.5%	
	⑤一般財源	円	4,210,258	4,073,018	4,258,000	4,008,225	-1.6%	
	収入合計	円	4,670,258	4,525,276	4,720,000	4,453,584	-1.6%	0
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	
	②年間所要時間	時間	300	300	300	300	0.0%	
	③人件費(②×@ 4,400円)(B)	円	1,320,000	1,320,000	1,320,000	1,320,000	0.0%	0
	総費用(A+B)	円	5,990,258	5,845,276	6,040,000	5,773,584	-1.2%	0

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	◇片貝コミバスの運行管理、バス・車庫の維持管理業務の委託 ◇片貝コミバスのH28年度からの市民バスへの移管に向けた運行体制の検討	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
	妥当性	妥当性	C	C	自治体関与の妥当性	1 妥当である	平成12年度の片貝保育園と小学校の移設に合わせて、地域住民の移動を考慮してスタートしたものであり、市の関与は必要。
目的の妥当性					2 検討の余地あり	子供達の移動の確保といった目的には寄与しているが、それ以外利用者の利用目的を満たしているかどうか検討余地がある。	
対象の妥当性					2 検討の余地あり	市民バス全体で利用促進を進めるため、片貝地区住民だけでなく、隣接する地区住民も気軽に利用できる運行の検討が必要。	
有効性	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり	スクールバスのような性格が強い路線であり、子供数の減少が利用者減に直結しているが、対象となる層は確実に利用している。	
				類似事業の有無	2 検討の余地あり	県道には、並行して地鉄バス東蔵線が市民バス並み料金で運行しており、住民ニーズを踏まえ、運行路線の検討は必要。	
				上位施策への貢献度	2 普通	受益負担や費用対効果、公平性の観点から、今後、市民バスやスクールバスに特化した運行への切り替えが望ましい。	
効率性	効率性	B	C	コスト効率	2 普通	地鉄バスとのバランスも考慮の上、片貝コミバスを市民バスとして運行していくことが受益負担等の観点から望ましい。	
				実施主体の適正化	2 改善の余地あり	市の車両を使用し、地域住民の足となっている点で市民バスと変わらない。安全運行と利便性向上のため改善の余地がある。	
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり	地区負担はあるが、現状からすると、例えば一般住民の利便性を高め、それに見合った負担を求める等の改善の余地はある。	
	1次評価(課長総括)	B	C	事業の進め方・内容について見直しが必要	2次評価	不要	【選択してください】
	後(課題及び今後の評価結果)	過去の経緯や住民感情もあり、これまで運行体制の見直しは困難であったが、小学校統合に合わせて、住民との対話がしっかりでき、スクールバスの運行と併せてH28年度からの市民バスへの移行ができたことは、一般住民の利便性向上と受益者負担の観点から前進と言える。				評価結果	